

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談

2. 日時：令和元年12月17日（火）14：00～15：20

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、高松係員、長崎技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部

放射線・環境グループ 担当2名

土木・建築設備グループ 担当1名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の報告があった。
 - タービン建屋海側下部透水層における地下水濃度について
 - ✓ 互層部観測井Gi18の放射能濃度は、前回に比べてトリチウムは約半分であり、セシウム（Cs-137）は約2倍、ストロンチウム（Sr-90）は上昇傾向であること。
 - タービン建屋東側における地下水濃度について
 - ✓ 降雨の影響により一時的な変動があるものの、横ばい傾向であること。
 - 原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果について
 - ✓ 放出による被ばく線量は、年間 $0.07\mu\text{Sv}$ 未満であり前回値から大きな変動はないこと。
- 原子力規制庁は、上記の内容を確認した。

6. その他

資料：

- 環境線量低減対策スケジュール
- 1/2号機タービン建屋海側下部透水層の水質調査結果について（定例報告）
- タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
- 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2019年11月）
- 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2019年11月評価分（詳細データ）